

2024年

2024年10月7日

北海道地方 9月の天候

札幌管区気象台
気象防災部 予報課

概況

— 高気圧に覆われやすく記録的な多照。太平洋側では記録的な少雨。 —

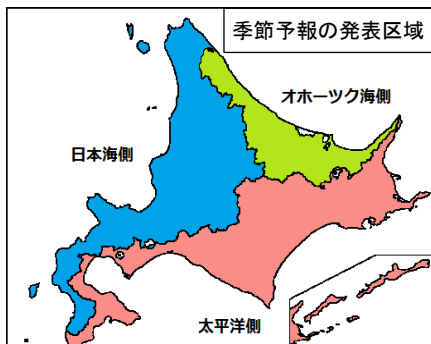
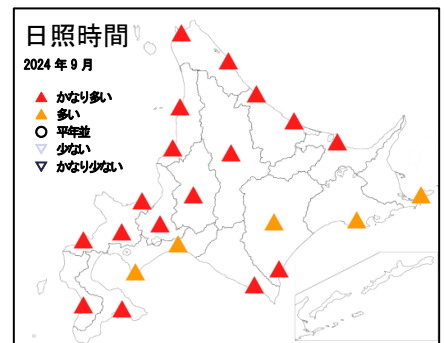
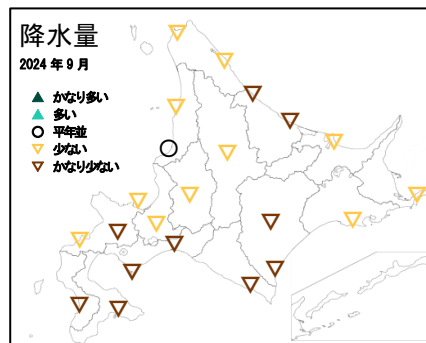
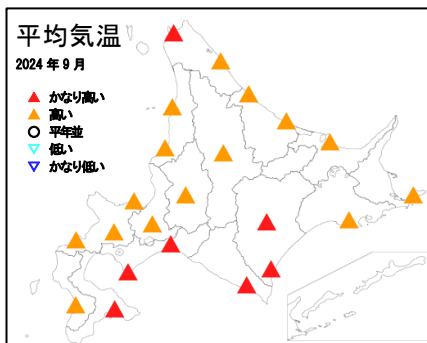
9月は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間はかなり多かった。北海道地方と日本海側の日照時間の平年比は1946年の統計開始以降、それぞれ多い方から第1位と第2位の記録となった。また、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、降水量はかなり少なく、特に太平洋側の降水量の平年比は1946年の統計開始以降、少ない方から第2位の記録となった。暖かい空気に覆われやすく、日照時間も多かったため、日本海側とオホーツク海側の気温は高く、太平洋側ではそれらに加えて海面水温が高いこともあり、気温はかなり高かった。このため、北海道地方でもかなり高かった。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間はかなり多く、北海道地方の旬日照時間の平年比は1946年の統計開始以降、多い方から第1位の記録となった。また、降水量は太平洋側でかなり少なく、北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で少なかった。気温は、晴れた日が多く、暖かい空気に覆われやすかったため、太平洋側でかなり高く、北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で高かった。

中旬：太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、降水量は少なかった。気温は、暖かい空気に覆われやすかったため太平洋側でかなり高く、北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で高かった。

下旬：高気圧に覆われやすく日本海側を中心に晴れた日が多かった。このため、降水量は北海道地方と日本海側でかなり少なく、オホーツク海側、太平洋側では少なかった。また、日照時間は日本海側でかなり多くオホーツク海側でも多かったが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすかった太平洋側では少なかった。気温は、21日から24日にかけて寒気の影響を受けて平年を下回ったが、その後は暖かい空気に覆われて平年を上回り、旬平均気温としては北海道地方、日本海側、太平洋側で高かった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.3	++	46	--	128	++
日本海側	+1.1	+	58	-	131	++
オホーツク海側	+1.1	+	42	--	129	++
太平洋側	+1.5	++	32	--	124	++

旬の統計値(地域平均)

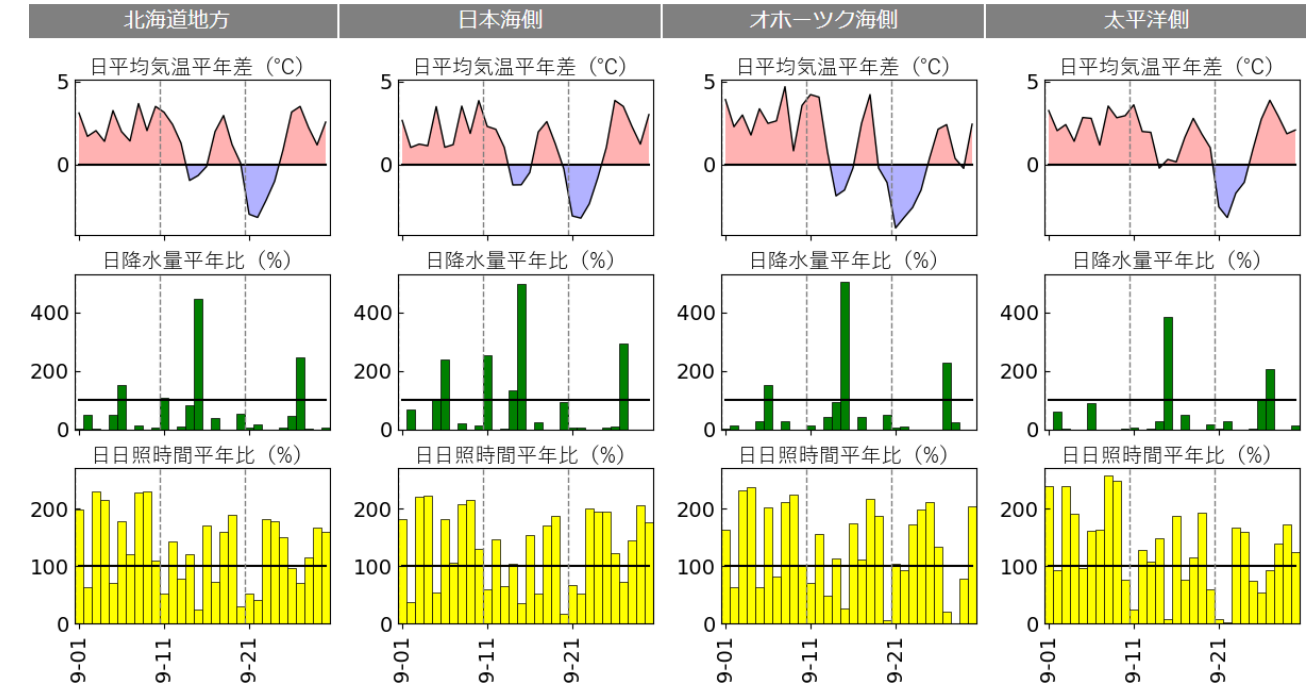
上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.2	+	28	-	163	++
日本海側	+1.9	+	42	-	153	++
オホーツク海側	+2.7	+	21	-	156	++
太平洋側	+2.4	++	14	--	179	++

中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.1	+	74	0	106	0
日本海側	+0.7	+	97	0	101	0
オホーツク海側	+1.1	+	72	0	113	+
太平洋側	+1.5	++	46	-	108	0

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.5	+	35	--	118	+
日本海側	+0.6	+	34	--	138	++
オホーツク海側	-0.3	0	30	-	118	+
太平洋側	+0.8	+	39	-	92	-

注) ・数値は、地域内の气象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の▲、×はそれぞれ、該当する日のデータが資料不足値、欠測であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
札幌	19.9	+1.3	+	74.5	52	—	212.3	133	++
稚内	18.4	+1.2	++	87.5	64	—	227.2	132	++
北見枝幸	17.5	+1.0	+	69.5	52	—	209.0	135	++
旭川	17.4	+1.0	+	90.0	66	—	203.9	141	++
留萌	18.3	+1.1	+	109.0	75	0	225.1	134	++
羽幌	18.3	+0.9	+	86.5	60	—	227.6	132	++
岩見沢	18.5	+1.1	+	91.0	64	—	215.1	133	++
倶知安	17.3	+0.9	+	58.5	44	--	184.8	124	++
小樽	19.3	+1.2	+	84.0	64	—	195.3	122	++
寿都	19.4	+1.3	+	87.5	58	—	191.0	124	++
網走	17.8	+1.0	+	64.0	56	—	208.9	128	++
紋別	17.8	+1.2	+	37.5	29	--	199.4	127	++
雄武	17.2	+1.2	+	43.0	31	--	202.6	127	++
釧路	17.7	+1.2	+	83.5	55	—	169.5	118	+
根室	17.4	+1.2	+	91.0	57	—	181.3	125	+
帯広	18.7	+1.8	++	34.0	24	--	168.6	122	+
広尾	18.4	+1.8	++	58.0	22	--	168.0	125	++
室蘭	20.1	+1.7	++	23.5	15	--	200.3	120	+
苫小牧	19.4	+1.6	++	84.0	48	--	192.6	126	+
浦河	19.0	+1.3	++	31.5	22	--	200.8	123	++
函館	20.5	+1.7	++	21.5	14	--	213.8	133	++
江差	20.7	+1.2	+	47.0	35	--	219.5	135	++

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「 ） 」付きの値は欠測を含む。「 ） 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
9月	月平均気温の高い方から	第3位	帯広	18.7℃	+1.8℃	20.3℃(2012)	1892
			釧路	17.7℃	+1.2℃	19.9℃(2023)	1910
			室蘭	20.1℃	+1.7℃	21.6℃(2012)	1923
			苫小牧	19.4℃	+1.6℃	21.4℃(2012)	1942
			函館	20.5℃	+1.7℃	22.5℃(2012)	1872
			広尾	18.4℃	+1.8℃	20.0℃(2023)	1958
	月降水量(少ない)	第1位	函館	21.5mm	14%	32.5mm(2008)	1872
			雄武	43.0mm	31%	34.0mm(2018)	1942
		第2位	室蘭	23.5mm	15%	19.0mm(2008)	1923
			江差	47.0mm	35%	37.0mm(2002)	1941
		第3位	倶知安	58.5mm	44%	53.6mm(1956)	1944
			広尾	58.0mm	22%	47.5mm(1969)	1958
			帯広	34.0mm	24%	24.0mm(1956)	1892
			浦河	31.5mm	22%	24.1mm(1956)	1927
			紋別	37.5mm	29%	19.5mm(2018)	1956
	月間日照時間(多い)	第1位	旭川	203.9h	141%	196.0h(2022)	1895
			岩見沢	215.1h	133%	208.4h(1984)	1947
		第2位	留萌	225.1h	134%	232.2h(2021)	1943
			札幌	212.3h	133%	216.6h(1946)	1890
			江差	219.5h	135%	222.6h(2021)	1941
		第3位	稚内	227.2h	132%	250.7h(2002)	1938

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 611-0170